

2023年12月期 第1四半期決算短信〔SFRS(I)及びIFRS〕(連結)

2023年5月12日

上場会社名 YCPホールディングス(グローバル)リミテッド 上場取引所 東
 コード番号 9257 URL https://www.ycp.com
 代表者 (役職名)取締役兼グループCEO (氏名)石田 裕樹
 問合せ先責任者 (役職名)IRグループ (氏名)中村 哲朗 (TEL) 03-6804-3225
 四半期報告書提出予定日 2023年5月17日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有
 四半期決算説明会開催の有無: 有(機関投資家・メディア関係者、個人投資家向け)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年3月31日)

(注) 当社の連結財務書類は米ドルで表示されています。本書において円で表示している金額は、便宜上、2023年3月31日現在の株式会社みずほ銀行の対顧客電信直物売相場場の仲値に基づき1米ドル=133.54円で換算された金額であります。

(1) 連結経営成績(累計)

(単位: 千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前 四半期利益		四半期利益		親会社の所有者 に帰属する 四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
2023年12月期 第1四半期	27,861 (3,721)	37.7%	1,854 (248)	△14.3%	1,764 (236)	△12.8%	1,046 (140)	△16.3%	1,056 (141)	△16.0%	117 (16)	-
2022年12月期 第1四半期	20,236 (2,702)	21.7%	2,163 (289)	35.7%	2,022 (270)	43.0%	1,249 (167)	57.7%	1,257 (168)	58.7%	△1,203 (△161)	△871.2%

(単位: 米ドル(円))

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
2023年12月期 第1四半期	0.05 (6.61)	0.05 (6.61)
2022年12月期 第1四半期	0.06 (8.42)	0.06 (8.42)

(2) 連結財政状態

(単位: 千米ドル(百万円))

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者帰属 持分比率
2023年12月期 第1四半期	115,389 (15,409)	64,809 (8,655)	63,986 (8,545)	55.5%
2022年12月期	117,465 (15,686)	63,917 (8,535)	63,803 (8,520)	54.3%

2. 配当の状況

(単位: 米ドル(円))

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年12月期	-	0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)
2023年12月期	-	-	-	-	-
2023年12月期(予想)	-	0.00 (0.00)	-	0.00 (0.00)	0.00 (0.00)

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(単位: 千米ドル(百万円)、%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰 属する当期利益		基本的1株当たり当期 利益(米ドル、円)	
	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
通期	112,073 (14,966)	31.0%	9,402 (1,256)	△25.5%	9,089 (1,214)	△26.3%	6,079 (812)	△41.5%	0.29 (38.07)	△44.9%

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

①SFRS (I) 及びIFRSにより要求される会計方針の変更：無

②①以外の会計方針の変更：無

③会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

①期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 Q1	21,321,976 株	2022年12月期	21,321,976 株
②期末自己株式数	2023年12月期 Q1	- 株	2022年12月期	- 株
③期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 Q1	21,321,976 株	2022年12月期 Q1	19,918,196 株

※本決算短信は、日本の金融商品取引法に基づく独立監査人による監査手続の対象外です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）キャッシュ・フローの状況	4
（4）連結業績予想に関する定性的情報	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
（1）要約四半期連結損益及び包括利益計算書	5
（2）要約四半期連結財政状態計算書	6
（3）要約四半期連結持分変動計算書	7
（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
（継続企業の前提に関する注記）	9
（セグメント情報）	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当社グループの当第1四半期連結累計期間における経営成績は、売上収益は27,861千米ドル（3,721百万円）と前年同期に比べ7,625千米ドル（1,018百万円、37.7%）の増収となりました。営業利益は1,854千米ドル（248百万円）と前年同期比と比べ309千米ドル（41百万円、14.3%）の減益、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,056千米ドル（141百万円）と前年同期と比べ201千米ドル（27百万円、16.0%）の減益となりました。四半期包括利益については、税引後その他の四半期包括利益で929千米ドル（124百万円）の損失を計上したものの、117千米ドル（16百万円）の利益となりました。

当第1四半期連結累計期間における報告セグメントごとの業績は、以下の通りです。

(マネジメントサービス事業)

マネジメントサービス事業は、アジアを中心とする世界18拠点にて、2023年3月31日現在で約400名のプロフェッショナルが、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援等を提供しております。当事業においては、主要な地域の中で、更なる円安の影響を受けた日本地域で売上収益が792千米ドル（106百万円、12.9%）の減収、2022年8月に事業撤退した中東で530千米ドル（71百万円）の減収となったものの、2022年12月にAuctus Advisors Private Limitedを連結子会社化したインド地域で2,980千米ドル（398百万円、2113.5%）の大幅な増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は12,302千米ドル（1,643百万円、前年同期は11,691千米ドル（1,561百万円））（セグメント間収益含む）、セグメント損益は2,291千米ドル（306百万円）の利益（前年同期は3,090千米ドル（413百万円）の利益）となりました。

マネジメントサービス事業における、当第1四半期連結累計期間及び前年同期の地域別売上収益の内訳は以下の通りです。

(地域別売上収益の内訳)	当第1四半期連結累計期間 (2023年1月1日～2023年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
日本	5,345	714	6,137	820
東南アジア	2,436	325	3,072	410
グレートチャイナ	1,252	167	1,573	210
インド	3,121	417	141	19
中東	-	-	530	71
欧州	231	31	282	38
北米	235	31	624	83
グループ間取引消去	△671	△90	△1,047	△140
合計	11,949	1,596	11,312	1,511

(参考：現地通貨の売上推移)	当第1四半期連結累計期間 (2023年1月1日～2023年3月31日)	前第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年3月31日)
日本（百万円）	739	750
インド（百万インドルピー）	257	11

(注) その他の地域については、原則として米ドルで計上しているが、少額のため割愛しております。

(プリンシパル投資事業)

プリンシパル投資事業は、マネジメントサービス事業を通じて培った経営人材のプラットフォームを活用し、中小/新興企業に対して当社グループ自らの資金を投下する他、ゼロから事業立ち上げを伴うインキュベーションにも積極的に取り組んでおります。これまでの投資活動の結果、現在では、パーソナルケア領域及びペットケア領域を重点領域と定め長期的な投資を継続しております。また、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も、戦略投資領域として積極的に投資を行っております。

パーソナルケア領域は、主要な連結子会社である株式会社SOLIAを通じて、「ALOBABY（アロベビー）」、「HALENA（ハレナ）」、「AMBIQUE（アンビーク）」及び「MELCE（メルス）」などのパーソナルケア商材をアジア全域に展開しております。当領域においては、特に「ALOBABY（アロベビー）」及び「AMBIQUE（アンビーク）」の新規顧客増加や既存顧客のリピート率向上により、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で349百万円の増収となりました。一方で、更なる円安の影響により、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で1,995千米ドル（266百万円）の増収にとどまっております。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は7,252千米ドル（968百万円、前年同期は5,257千米ドル（702百万円））、セグメント損益は650千米ドル（87百万円）の利益（前年同期は279千米ドル（37百万円）の利益）となりました。

ペットケア領域は、主要な連結子会社である株式会社ライフメイト動物病院グループ及び株式会社ライフメイト動物救急センターを通じて、動物病院運営を中心に事業を展開しています。

当領域においては、2022年7月に動物向けの高度医療を担う二次診療及び夜間救急診療を実施する株式会社アニマルメディカの動物病院事業を承継したほか、2023年1月に北海道江別市で動物病院事業を運営する合同会社E-Vetsの持分を取得したことにより、円建て決算ベースの売上収益は前年同期比で388百万円の増収となりました。一方で、更なる円安の影響により、米ドル建て決算ベースの売上収益は前年同期比で2,777千米ドル（371百万円）の増収にとどまっております。また、2023年2月に第一回愛玩動物看護師国家試験が実施され、獣医師及び看護師の稼働率が一時低下した影響もあり、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は4,071千米ドル（544百万円、前年同期は1,294千米ドル（173百万円））、セグメント損益は48千米ドル（6百万円）の損失（前年同期は25千米ドル（3百万円）の利益）となりました。

戦略投資領域は、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資として、主にアジア各国における飲食事業やシニア向けサービスといった事業に投資を行っております。

当領域においては、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減した飲食事業の業績が大きく改善したことに加え、2022年9月に北海道内で飲食事業を展開する株式会社ARUKIを完全子会社化したことで、売上収益は前年同期比で2,233千米ドル（298百万円）の増収となりました。その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上収益は4,706千米ドル（628百万円、前年同期は2,474千米ドル（330百万円））、セグメント損益は167千米ドル（22百万円）の利益（前年同期は346千米ドル（46百万円）の損失）となりました。

以上の当社グループの売上収益をまとめると以下の通りです。

(グループの売上収益の内訳)	当第1四半期連結累計期間 (2023年1月1日～2023年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～2022年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
マネジメントサービス事業	12,302	1,643	11,691	1,561
プリンシパル投資事業 (内訳)	16,029	2,141	9,025	1,205
パーソナルケア領域	7,252	968	5,257	702
ペットケア領域	4,071	544	1,294	173
戦略投資領域	4,706	628	2,474	330
グループ間取引消去	△470	△63	△480	△64
合計	27,861	3,721	20,236	2,702

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は115,389千米ドル（15,409百万円、前連結会計年度末は117,465千米ドル（15,686百万円））となり、前連結会計年度比2,076千米ドル（277百万円）減少となりました。これは主に、公開買付けへの応募に伴う上場株式の売却により、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産が12,507千米ドル（1,670百万円）減少したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は50,580千米ドル（6,754百万円、前連結会計年度末は53,548千米ドル（7,151百万円））となり2,968千米ドル（396百万円）減少となりました。これは主に、営業債務以外の短期債務が3,342千米ドル

（446百万円）減少したことによるものであります。

（資本）

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は64,809千米ドル（8,655百万円、前連結会計年度末は63,917千米ドル（8,535百万円））となり、前連結会計年度末比892千米ドル（119百万円）増加となりました。これは主に、親会社の所有者に帰属する四半期利益1,056千米ドル（141百万円）を計上したことによるものであります。

（3）キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より6,163千米ドル（823百万円）増加し、29,636千米ドル（3,958百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と要因は以下の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、3,689千米ドル（493百万円、前第1四半期連結累計期間は1,498千米ドル（200百万円）の減少）となりました。これは主に、マネジメントサービス事業において外注先への業務委託費の支出が増加したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、7,378千米ドル（985百万円、前第1四半期連結累計期間は41千米ドル（5百万円）の減少）となりました。これは主に、純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却による収入12,441千米ドル（1,661百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、2,551千米ドル（341百万円、前第1四半期連結累計期間は438千米ドル（58百万円）の増加）となりました。これは主に、借入による収入4,194千米ドル（560百万円）によるものであります。

（4）連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの売上計画はセグメント別（マネジメントサービス事業においては各地域別）に作成した売上収益を合算して算出しております。各セグメントの売上収益は、過年度の実績や当該セグメントの特性及び個別事情等を考慮して、個別に積上げ、計画に反映しております。

マネジメントサービス事業は、引き続き為替変動リスクや後退が予想される世界経済の動向を注視しつつも、成長著しいインドにおいてAuctus Advisors Private LimitedとのM&Aを通じた大幅な業容拡大を実現していることから、着実な売上拡大を見込んでおります。また、プリンシパル投資事業においても、重点領域であるパーソナル領域及びペットケア領域が位置するマーケットは、為替変動の影響下でも堅実な需要が見込まれることから、今後もマーケティング施策の拡大や動物病院のM&Aを通じて着実に売上拡大を図ってまいります。戦略投資領域におけるアジア各国での飲食事業や日本でのシニア向けサービスについては、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減していることに加え、株式会社ARUKIの100%子会社化などにより大幅な業容拡大を実現していることから、着実な売上拡大を見込んでおります。なお、当社グループの事業内容に関して、ロシア・ウクライナ情勢による直接的な影響はグループ全体で軽微であるものの、情勢の変化によって生じる急激な為替変動リスクについては、引き続き注視してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益及び包括利益計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2023年1月1日～ 2023年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
売上収益	27,861	3,721	20,236	2,702
売上原価	△8,701	△1,162	△5,873	△784
売上総利益	19,160	2,559	14,363	1,918
その他の収益または費用（△は費用）	65	9	△73	△10
販売費	△3,859	△515	△3,096	△413
一般管理費	△13,523	△1,806	△8,993	△1,201
その他の営業収益または費用（△は費用）	11	1	△38	△5
営業利益	1,854	248	2,163	289
金融収益	3	0	1	0
金融費用	△85	△11	△67	△9
持分法による投資損益（△は損失）	△8	△1	△75	△10
税引前四半期利益	1,764	236	2,022	270
法人所得税費用	△718	△96	△773	△103
四半期利益	1,046	140	1,249	167
四半期利益の帰属:				
親会社の所有者	1,056	141	1,257	168
非支配持分	△10	△1	△8	△1
親会社の所有者に帰属する1株当たり利益: 基本及び希薄化後（米セント/円）	4.95	6.61	6.31	8.42
その他の包括利益（△は損失）				
純損益に振り替えられる可能性のある その他の包括利益（△は損失）:				
在外営業活動体の換算差額	△929	△124	△2,438	△326
持分法のその他の包括利益	-	-	△15	△2
純損益に振り替えられる可能性のない その他の包括利益（△は損失）:				
在外営業活動体の換算差額	-	-	1	0
税引後その他の包括利益（△は損失）	△929	△124	△2,452	△327
四半期包括利益（△は損失）合計	117	16	△1,203	△161
四半期包括利益（△は損失）の帰属:				
親会社の所有者	156	21	△1,193	△159
非支配持分	△39	△5	△10	△1

（2）要約四半期連結財政状態計算書

	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)		前連結会計年度 (2021年12月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
非流動資産				
有形固定資産	6,017	804	6,157	822
使用権資産	5,824	778	6,993	934
のれん	36,794	4,913	35,672	4,764
無形資産	5,689	760	5,332	712
ジョイント・ベンチャーに対する投資	20	3	28	4
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産	707	94	13,214	1,765
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	1,779	238	1,763	235
繰延税金資産	1,829	244	1,915	256
非流動資産合計	58,659	7,833	71,074	9,491
流動資産				
棚卸資産	6,053	808	5,221	697
営業債権	13,059	1,744	11,483	1,533
契約資産	918	123	1,126	150
前払金、敷金及び保証金並びにその他の債権	7,064	943	5,088	679
現金及び預金	29,636	3,958	23,473	3,135
流動資産合計	56,730	7,576	46,391	6,195
流動負債				
営業債務	4,774	638	5,482	732
営業債務以外の短期債務	15,545	2,076	18,887	2,522
有利子負債	4,365	583	4,307	575
リース負債	2,415	322	2,516	336
未払法人所得税	825	110	1,572	210
流動負債合計	27,924	3,729	32,764	4,375
正味流動資産	28,806	3,847	13,627	1,820
正味流動資産及び非流動資産合計	87,465	11,680	84,701	11,311
非流動負債				
営業債務以外の長期債務	2,164	289	2,150	287
有利子負債	15,419	2,059	12,610	1,684
リース負債	3,508	468	4,612	616
繰延税金負債	1,450	194	1,306	174
退職給付に係る負債	115	15	106	14
非流動負債合計	22,656	3,025	20,784	2,775
純資産	64,809	8,655	63,917	8,535
資本				
親会社の所有者に帰属する持分				
資本金	41,182	5,499	41,182	5,499
剰余金	22,804	3,045	22,621	3,021
	63,986	8,545	63,803	8,520
非支配持分	823	110	114	15
資本合計	64,809	8,655	63,917	8,535

（3）要約四半期連結持分変動計算書

当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日～2023年3月31日）

単位：千円ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分								資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度	合計	非支配 持分	
2023年1月1日残高	41,182	△1,972	△6,639	30,918	321	△7	63,803	114	63,917
	(5,499)	(△263)	(△887)	(4,129)	(43)	(△1)	(8,520)	(15)	(8,535)
四半期利益	-	-	-	1,056	-	-	1,056	△10	1,046
	-	-	-	(141)	-	-	(141)	(△1)	(140)
その他の包括利益 (△は損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△900	-	-	-	△900	△29	△929
	-	-	(△120)	-	-	-	(△120)	(△4)	(△124)
四半期包括利益（△は損失）	-	-	△900	1,056	-	-	156	△39	117
合計	-	-	(△120)	(141)	-	-	(21)	(△5)	(16)
非支配株主からの出資	-	-	-	-	-	-	-	748	748
	-	-	-	-	-	-	-	(100)	(100)
株式報酬費用	-	-	-	-	27	-	27	-	27
	-	-	-	-	(4)	-	(4)	-	(4)
2023年3月31日残高	41,182	△1,972	△7,539	31,974	348	△7	63,986	823	64,809
	(5,499)	(△263)	(△1,007)	(4,270)	(46)	(△1)	(8,545)	(110)	(8,655)

前第1四半期連結累計期間（2022年1月1日～2022年3月31日）

単位：千円ドル（百万円）

	親会社の所有者に帰属する持分								資本 合計
	資本金	資本 剰余金	在外営業 活動体の 換算差額	利益 剰余金	新株 予約権	退職給付 制度	合計	非支配 持分	
2022年1月1日残高	32,993	△1,972	△963	20,527	123	△11	50,697	110	50,807
	(4,406)	(△263)	(△129)	(2,741)	(16)	(△1)	(6,770)	(15)	(6,785)
四半期利益	-	-	-	1,257	-	-	1,257	△8	1,249
	-	-	-	(168)	-	-	(168)	(△1)	(167)
その他の包括利益 (△は損失)									
在外営業活動体の 換算差額	-	-	△2,436	-	-	1	△2,435	△2	△2,437
	-	-	(△325)	-	-	(0)	(△325)	(△1)	(△325)
持分法のその他の 包括利益（△は損失）	-	-	△15	-	-	-	△15	-	△15
	-	-	(△2)	-	-	-	(△2)	-	(△2)
四半期包括利益（△は損失）	-	-	△2,451	1,257	-	1	△1,193	△10	△1,203
合計	-	-	(△327)	(168)	-	(0)	(△159)	(△1)	(△161)
新株の発行	2,641	-	-	-	-	-	2,641	-	2,641
	(353)	-	-	-	-	-	(353)	-	(353)
株式発行費用	△211	-	-	-	-	-	△211	-	△211
	(△28)	-	-	-	-	-	(△28)	-	(△28)
株式報酬費用	-	-	-	-	52	-	52	-	52
	-	-	-	-	(7)	-	(7)	-	(7)
2022年3月31日残高	35,423	△1,972	△3,414	21,784	175	△10	51,986	100	52,086
	(4,730)	(△263)	(△456)	(2,909)	(23)	(△1)	(6,942)	(13)	(6,956)

（4）要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	当第1四半期連結累計期間 (2023年1月1日～ 2023年3月31日)		前第1四半期連結累計期間 (2022年1月1日～ 2022年3月31日)	
	千米ドル	百万円	千米ドル	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税引前四半期利益	1,764	236	2,022	270
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整:				
金融収益	△3	△0	△1	△0
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の評価損	-	-	246	33
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の売却による利得	△18	△2	-	-
新型コロナウイルス感染症に関連した賃料減免 減価償却費（有形固定資産）	-	-	△19	△3
減価償却費（使用権資産）	408	54	134	18
その他の償却費（無形資産）	931	124	781	104
棚卸資産廃棄損	194	26	68	9
有形固定資産除却損	23	3	5	1
リース資産売却益	24	3	-	-
貸倒引当金の増加額（△は戻入）	△3	△0	-	-
金融費用	△1	△0	1	0
金融費用	85	11	67	9
持分法による投資損失	8	1	75	10
株式報酬費用	27	4	52	7
運転資本の変動前の営業キャッシュ・インフロー	3,439	459	3,431	458
運転資本の変動:				
前払金、敷金及び保証金並びに その他の債権の減少額	675	90	86	11
契約資産の増減額（△は増加）	302	40	△114	△15
棚卸資産の増加額	△921	△123	△114	△15
営業債権の増加額	△1,408	△188	△1,804	△241
営業債務の増減額（△は減少）	△889	△119	174	23
営業債務以外の債務の増減額（△は減少）	△3,487	△466	△1,953	△261
小計	△2,289	△306	△294	△39
法人所得税の支払額	△1,400	△187	△1,204	△161
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,689	△493	△1,498	△200
投資活動によるキャッシュ・フロー				
利息の受取額	3	0	1	0
子会社の取得に係る前払金の支出	△2,471	△330	-	-
有形固定資産の取得による支出	△348	△46	△42	△6
子会社及び事業の取得による支出	△2,247	△300	-	-
純損益を通じて公正価値で測定する 金融資産の売却による収入	12,441	1,661	-	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	7,378	985	△41	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー				
株式の発行による払込	-	-	2,641	353
株式発行費用の支出	-	-	△211	△28
借入による収入	4,194	560	180	24
借入金の返済による支出	△1,342	△179	△1,413	△189
リース負債の返済による支出	△964	△129	△693	△93
利息の支払額（リース負債）	△34	△5	△19	△3
利息の支払額	△51	△7	△47	△6
非支配株主による出資	748	100	-	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,551	341	438	58
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	6,240	833	△1,101	△147
現金及び現金同等物の期首残高	23,473	3,135	38,513	5,143
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△77	△10	△2,069	△276
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,636	3,958	35,343	4,720
現金及び現金同等物の内訳:				
現金及び預金	29,636	3,958	35,343	4,720

（5）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営意思決定機関であるグループ取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、クライアント企業に対してM&AやDX導入をテーマとした現場常駐型（PMO型）の各種経営支援等を提供する「マネジメントサービス」と、中小・振興企業に対するリスクマネーの提供やゼロベースから事業をインキュベーションする「プリンシパル投資」の2事業を展開しております。さらに「プリンシパル投資」においては、「パーソナルケア領域」及び「ペットケア領域」を重点領域と定め長期的な投資を継続している他、将来の重点領域となるべきビジネスシーズに対する投資も「戦略投資領域」として積極的に投資を行っております。

従って、当社グループは、「マネジメントサービス事業」「パーソナルケア領域」「ペットケア領域」「戦略投資領域」の4つの事業もしくは領域を報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上収益、利益又は損失の金額に関する情報

当第1四半期連結累計期間(2023年1月1日～2023年3月31日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	11,949 (1,596)	7,252 (968)	4,063 (543)	4,597 (614)	27,861 (3,721)
セグメント間収益	353 (47)	- -	8 (1)	109 (15)	470 (63)
計	12,302 (1,643)	7,252 (968)	4,071 (544)	4,706 (628)	28,331 (3,783)
セグメント間収益の相殺					△470 (△63)
収益合計					27,861 (3,721)
非資金取引前セグメント損益	2,800 (374)	705 (94)	387 (52)	753 (101)	4,645 (620)
非資金取引					
貸倒引当金戻入額	-	-	1 (0)	-	1 (0)
棚卸資産廃棄損	-	△23 (△3)	-	-	△23 (△3)
有形固定資産除却損	-	-	-	△24 (△3)	△24 (△3)
減価償却費	△363 (△48)	△28 (△4)	△397 (△53)	△551 (△74)	△1,339 (△179)
その他の償却費	△122 (△16)	△4 (△1)	△39 (△5)	△29 (△4)	△194 (△26)
純損益を通じて公正価値で測定する金融資産の売却による利得	-	-	-	18 (2)	18 (2)
リース資産売却益	3 (0)	-	-	-	3 (0)
株式報酬費用	△27 (△4)	-	-	-	△27 (△4)
セグメント損益	2,291 (306)	650 (87)	△48 (△6)	167 (22)	3,060 (409)
配賦不能本社費					△1,206 (△161)
営業利益					1,854 (248)
金融収益					3 (0)
金融費用					△85 (△11)
持分法による投資損失					△8 (△1)
税引前四半期利益					1,764 (236)

前第1四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年3月31日)

(単位：千米ドル(百万円))

	報告セグメント				合計
	マネジメント サービス	パーソナル ケア	ペットケア	戦略投資	
外部収益	11,312 (1,511)	5,242 (700)	1,294 (173)	2,388 (319)	20,236 (2,702)
セグメント間収益	379 (51)	15 (2)	- -	86 (11)	480 (64)
計	11,691 (1,561)	5,257 (702)	1,294 (173)	2,474 (330)	20,716 (2,766)
セグメント間収益の相殺					△480 (△64)
収益合計					20,236 (2,702)
非資金取引前セグメント損益	3,572 (477)	308 (41)	127 (17)	328 (44)	4,335 (579)
非資金取引					
貸倒引当金繰入額	-	-	△1 (△0)	-	△1 (△0)
棚卸資産廃棄損	-	△5 (△1)	-	-	△5 (△1)
減価償却費	△383 (△51)	△20 (△3)	△87 (△12)	△425 (△57)	△915 (△122)
その他の償却費	△47 (△6)	△4 (△1)	△14 (△2)	△3 (△0)	△68 (△9)
純損益を通じて公正価値で測 定する金融資産の評価損	-	-	-	△246 (△33)	△246 (△33)
株式報酬費用	△52 (△7)	-	-	-	△52 (△7)
セグメント損益	3,090 (413)	279 (37)	25 (3)	△346 (△46)	3,048 (407)
配賦不能本社費					△885 (△118)
営業利益					2,163 (289)
金融収益					1 (0)
金融費用					△67 (△9)
持分法による投資損失					△75 (△10)
税引前四半期利益					2,022 (270)